



専門工事会社が行う
「伝わる安全管理」

向井建設株式会社

全社安全衛生方針

社長方針

「環境の変化と個人の意識・技量のバラツキで生まれる職場の危険から働く人を守るため、『安全が全てに優先する』を基本に強いチーム力と主体性を発揮した安全衛生活動を展開し、災害ゼロを達成する」

向井建設経営理念

私たちは社会基盤の整備という
誇りある仕事を通じ、
常に信頼と共感を得られる
企業として、お客様と共に
人生の喜びや感動を創造する。



- 1 私たちは、公的使命と社会的責任を果たすため、法令遵守のもと、透明性の高い経営と財務体質の健全化を図り、能力ある企業として発展する。
- 2 社会のニーズと変化に適切に、組織と人が成長と革新を続ける挑戦的な企業風土を創る。
- 3 私たちは常に顧客に寄り、顧客を理解し、顧客の満足と信用獲得を最優先に、事業の方向性を定める。
- 4 現場第一線において、競争力ある高い生産性と絶対安全・絶対品質を追求し、能力を結果として全体経営に貢献する。
- 5 企業存続の基盤は「人」であり、個人の強みと協働による力が最大発揮される人材マネジメントシステムを確立する。

以前の取組み



- 安全パトロール
- 職場安全集会

伝わらない安全管理

- 通達羅列型
- イベント消化型

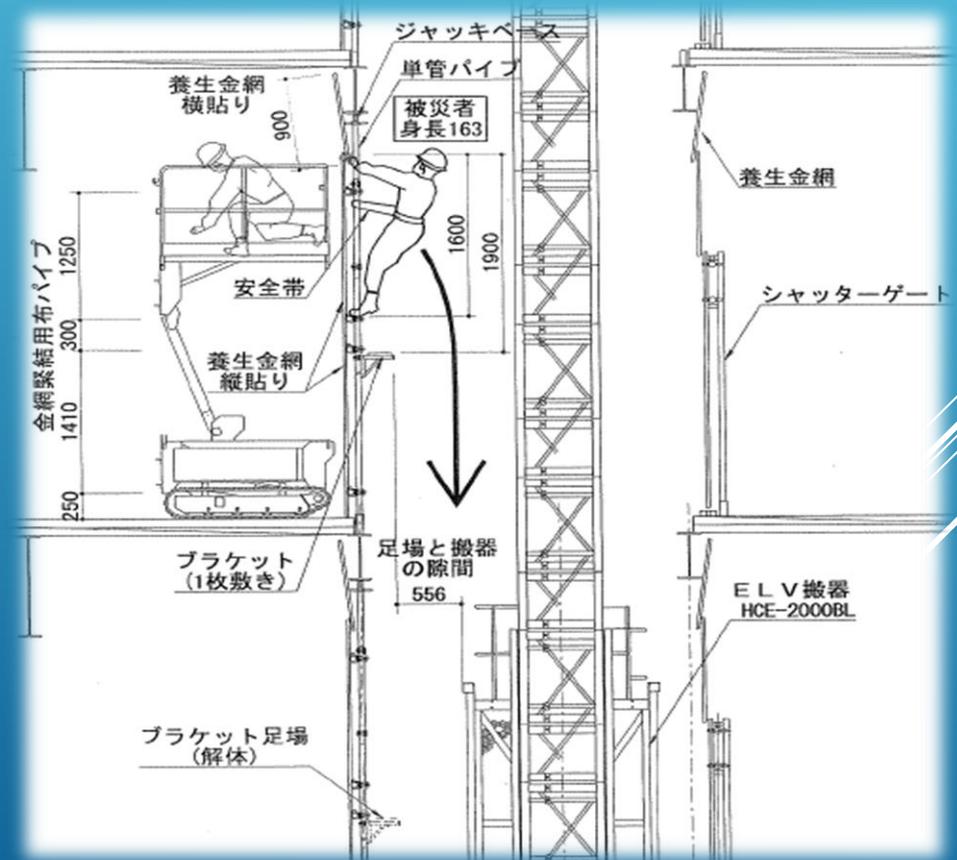


- 災害防止協議会

なくなる災害

平成15年8月2日（土曜日）

安全帯のU字吊り（大廻し）が外れ墜落事故



「伝える」から「伝わる」へ



事例1.対話型指さし呼称

作業別対話型指差呼称の例

高所作業



他に「手すり良いか?」「転木良いか?」「中ざん良いか?」等

丸ノコ



他に「電源スイッチ良いか?」等

玉掛



他に「吊り具良いか?」「吊り索良いか?」等

可搬式作業台



他に「リベットの締り良いか?」「伸縮ロック良いか?」等

重機



他に「誘導員良いか?」「人払良いか?」等

溶接・はつり



他に「防護メガね良いか?」等



高所から落ちない、落とさない

【人】が…

安全帯 ヨシ！

墜ちないか！？

親網先行設置 ヨシ！

〔例〕

作業床 ヨシ！

水平ネット ヨシ！

開口手摺 ヨシ！

など



〔例〕
作業床 ヨシ！
水平ネット ヨシ！
開口手摺 ヨシ！
など

事例2.日誌型作業手順書で伝える



【日誌型作業手順書(簡易版)】 2011/12/13作成

所属 藤原 作成者 藤原

作業日時 平成 28年 10月 28日(金) 現場名 丸の内3-2

作業員名 山中 退月, 杉野 藤太, 村野 地蔵, 甲村 小池, 墨田 泰司, 小沢

作業手順

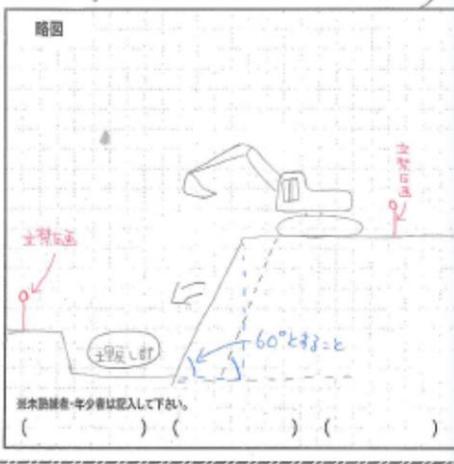
① 現地KY

② 重機周り区画

土壌の戻し
管コン設置
付着清掃

重機と作業員の接触
防止
取巻

基本ルール20は?
記入して下さい。 14



作業手順

現場KY

現場区画

トンパクリ横断

トンパクリ掃重

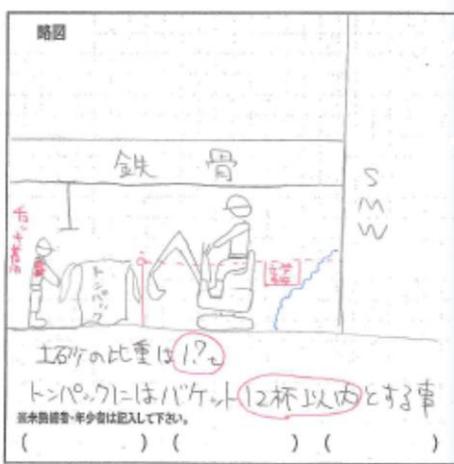
土・床付け

付着清掃

重機稼働前には重機
進行方向

業者はフォックサ着用で

基本ルール20は?
記入して下さい。 14



事例3.安全基本ルール20に込められた想い



向井建設株式会社

東京本社 建築統括部

安全基本ルール20

あなたと仲間を守る



全社安全スローガン
「決められたルールと
手順を守って無災害」

所属	
氏名	

第1版 作成:2014. 05 労務安全部
改訂:2016. 10 労務安全部



向井建設株式会社

東京本社 土木統括部

安全基本ルール20

あなたと仲間を守る



全社安全スローガン
「決められたルールと
手順を守って無災害」

所属	
氏名	

第1版 作成:2014. 05 労務安全部
改訂:2015. 10 労務安全部

事例4.パトロールや現場ミニ防災協で伝えたい



安全専任パトロール

事例5.Mi-Systemとmmメッセージ

開建設 現場支援情報サイト



Home : トップページ

- 会社情報
- 現場
- パトロール
- 通達
- 施工評価
- 知識の森
- 安全資料
- 参考写真
- お楽しみ

@MukaiHpさんのツイート

向井建設株式会社「総合躯体工事の向井」 @MukaiHp
[mukai-hp.jp/publics/index/...](http://mukai-hp.jp/publics/index/)

夏期休暇のお知らせ
 拝啓盛夏の候、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。さて、誠に勝手ながら夏期休暇のため、下記の通
mukai-hp.jp

埋め込む Twitterで表示

お知らせ

(安全) (第3回) 足場の組立等特別教育 (6 H) の開催

(第3回) 足場の組立等特別教育 (6 H) の開催
 ※締切り: 9月23日 (土) 迄です。
[全文](#) [足場の特別教育 \(6 H\) .pdf](#)

(安全) 安全新聞、及び衛生新聞 9月号 掲載しました

[全文](#) [安全・衛生新聞 \(9月号\) .pdf](#)

[mmmシリーズ 10回目] あなたへのメッセージ ~向井会長よりあなたへ~

[全文](#) [mmm201709 向井会長.pdf](#)

職長・安責者能力向上教育の案内 (締切り: 9/2 (土) まで。)

[全文](#) [※職長・安責者能力向上教育の案内.pdf](#)

再発防止徹底シート - 15	墜落!!クランプ1個の建地に安全帯を...
発生年月日 平成24年7月	住動押さえ用やぐらのステージ組替 作業 NO.62 - 男 34

災害の型	不・休(日数)	休業
起因物	被災者情報	
被災者情報	職 種	職 工
	施 工 体 制	2次災害

記載内容は、被災者及び一箇に作業していた仲間の方です。他人事と思わず自分に置き換えて、記憶にとどめて下さい。

○被災者事業主からのメッセージ

	<ul style="list-style-type: none"> 安全帯を使うことは社長からいつも言われていたので、必ずどこかにフックは掛けていました。今回も掛けたことは覚えているけど、墜ちる前のことが思い出せません。 安全帯を使っても、正しい使い方をしないと大ケガをすることが身にしみてわかりました。
被災者	
Wさん	

	<ul style="list-style-type: none"> 元請けや施主の方々、当日作業中止で待機していた他職の職人の人たちに申し訳ない気持ちで一杯です。 作業開始には必ず現場を確認し、安全な作業手順を作業員に周知して作業中の確認も必ず実施して、二度と災害を起こさない信念で頑張ります。
職長	
Iさん	

○従業員が被災して感じたこと

	<ul style="list-style-type: none"> これからは子供に諭すように「ここまで言わなければダメだ」という気持ちで、丁寧に根気よく指導をすること、現場での確認を今まで以上にやっていきます。 不幸中の幸いで、墜落をしたにも拘わらず現場に復帰しています。二度とこんな好運は無いと思うので、重篤な災害は之を最後にします。
事業主	
Kさん	

●原因

人・管理	職長は、現地にいて口頭
人	: 直交クランプ1ヶ所が
管理	: 作業手順、安全帯使用

ヒューマンエラー分類 H1:

◎対策

- 管理社員及び職長・作業主任に具体的な指示を出し理解と納得
- 予定外作業が発生した場合にダブルセーフティの対策を講ず

★当災害に関連する安衛

安衛法	-	
安衛則	-	
当 社	運動	2017
	-	

☆不採算性 (関係者数・使用時間等)

- 現場の高所作業が、7日間止まり、他職に多大な多大な迷惑を掛けた。
- 災害当日、待機している他職に対し、社長自ら頭を下げて謝罪した。
- 公共工事のため、国土交通省、監督署より、元請けが厳しい指導を受け、その対応に元請け幹部が書類作成のため2ヶ月以上も対応し、元請け、当社とも大きなダメージを受けた

★ケガの程度

- 外傷性くも膜下出血
 - 肋骨骨折
- 入院5日間

※社長の3つのお願い

災害事例は、『明日は我が身』の思いで、主体性を持って話し、聞きましょう。
 管理者は、着工前に危険リスクを排除してから部下に仕事をしてもらいましょう。
 手抜きの手癖に負けず、安全な道を選択する人こそ立派な建設人であることを自覚しましょう。

事例6.安全衛生大会で伝えたい

テーマ
家族と創る現場の安全

お父さんの仕事はスゴイ!!



土木統括部

事例7.現場の感動を分かち合いたい



017年 第5回優秀作品 「待っている人たちがいるから」



待っている人たちがいるから

東北支店土木部土木課

大江 輝



第5回感動創造エピソード優秀作

強い決意を伝えたい

あの災害を忘れない!

7月1日~8月31日

災害撲滅強化期間

7月27日~8月2日

その特別週間



7月27日 特別合同一斉パトロール



7月28日~8月1日 事業主によるパトロール強化



8月2日 安全の日 (反省の日)

新たな決意

安全作業

殉職者慰霊法要



向井建設株式会社

8月2日
安全の日

あの災害を忘れない!
災害撲滅強化期間

その特別週間

7月27日~8月2日

7月1日~8月31日



向井建設株式会社

「伝える」から「伝わる」へ、さらに「安全文化」へ

「腹に落ちて」
初めて伝わる

安全文化へ

伝える

動く

理解する

喜んでやり

共感する

続ける

話す

動こうとする

聞こえる



ご静聴ありがとうございました